

パブリックコメントの概要

1. 募集期間 令和2年12月28日（月）～令和3年1月26日（火）
 2. 意見提出 7人

NO	ご意見	町の考え方
1	<p>公共交通(P29)・交通安全(P88)関連</p> <p>現在、大島町の人口減少と高齢化が今後ますます進む中で、民間バスは、営利の関係から縮小、本数削減、廃止傾向になっております。</p> <p>今後、この民間バスによる存続はますます厳しくなると思われ、しかも高齢化が進む中、田舎暮らしでのお年寄りの免許返納等なかなか進まないと思われ。では老人の足として何を利用するかと考えますと、町によるスクールバスと病院バス、コミュニティーバス(小型のマイクロバス程度)に頼らざるを得なくなるのではないのでしょうか、これをコミュニティーバスに全て一元化し簡素化し、朝夕の通学時は便数を増やし、昼間の運航は少なめに(運営時に要検討)</p> <p>お年寄りや足の不自由な方の話によれば、「遠くに行きたいのではなく、近所のスーパーや病院、銀行、郵便局などほとんど近所での買い物や用事が日常困るのです。」といった話がほとんどです。</p> <p>これらの話から、きめ細かな運用(バス運行時には手を挙げれば乗車可能)をするとなると、各地区'(旧4町)での運用が不可欠と思われ。</p> <p>又、各地区との乗り継ぎ可能な運行も必要と思います。(時刻表の精査)</p>	<p>高齢者等社会的弱者にとって交通手段の確保は重要な課題です。今後、公共交通に関する具体的な取組を進める中でのご提案として参考にさせていただきます。</p>
2	<p>財政確保(P94)・交通安全(P88)・公共交通(P29)関連</p> <p>そこで、この現状を理解して貰う為の財源の一部として、観光客に協力金として先ずは観光税を導入し財源を確保する事です。</p> <p>観光税という名目で老人等コミュニティーバスの導入と老人の免許返納を推進するためのパンフレット等を観光客に配布し寄付と募金(島内外問わず募集)を募る(クラウドファンディングも活用)、と共に一律100円/人、程度徴取(一億円程度の基金が生まれます)</p>	<p>観光客も含め町外の方に対して好意による募金や寄付を基にして、交通対策に充てようとするご提案と思います。コミュニティーバス等の導入や高齢者の免許返納は地方都市共通の喫緊の課題となっているところですが、ご提案の費用の確保や免許返納制度への活用等の可能かどうかも含め、今</p>

	<p>の観光税を導入してはどうでしょうか。(料金徴収は大島大橋の入口)(朝9時から夕方5時迄徴取とし、夜間早朝は通勤通学の為回避とする)(大島住民には車にシールを張る等の区別が必要)(観光税領収券の発行)</p> <p>観光税の用途は、お年寄り(後期高齢者と免許返納者には手厚く無料券を配布)や一般(100円/回程度)の住人も利用しやすいコミュニティーバスの維持管理(運賃等も加算)と道路沿線の花や緑の緑化、道路ゴミ掃除や自然環境の為だけに使用されるものとする。</p>	<p>後の公共交通の在り方を検討する際のご提案として参考にさせていただきます。</p>
<p>3</p>	<p>公共交通(P29)・交通安全(P88) 関連</p> <p>又、町職員は緊急性や特段の事情のない限りコミュニティーバスを利用して通勤しコミュニティーバス支援の永続的一助として協力し推進を図る。</p> <p>これにより後期高齢者等の運転免許の返納者も増加し、島内での安心安全な交通維持が可能となるのではないのでしょうか。</p>	<p>通勤者の形態の在り方や職員の働き方等のご提案として今後の検討の際に参考にさせていただきます。</p>
<p>4</p>	<p>生涯学習(P49)・財政確保(P94)・公共交通(P29)・観光の振興(P11)・公共交通(P29) 関連</p> <p>又、観光客へのお返しとして花や緑化にかかる費用は観光税の一部から支出し、各自治会へ支給され一年を通して季節の花の植え替え(2回程度)や、花壇や緑化の作業等の維持管理を自治会(例えば婦人会や老人会)で運営してもらい、その他、町関連の施設前には花壇等を整備し町による花の美化推進をすることで観光客の方々に花で彩られた美しい大島町の道路沿線維持を観光客へのお返しとすることで大島の自然の海や山の景観を相乗効果で美しく堪能してもらうことが出来るでしょう。</p> <p>そして島内の観光税に協力していただける店舗(飲食店・お土産店・スーパー他)賛助会員を募集し、観光税を支払った観光客が当日のみ有効な観光税領収券を持参すれば飲食や買い物時に3～5%の値引きをしてもらう等のサービスも併用すると観光税を支払っても観光客のメリットは大ですし、積極的に島内の店舗での飲食や買い物も増大するのではないかと思います。</p>	<p>上記2の具体的な活用方法のご意見として参考にさせていただきます。</p>

<p>5</p>	<p>生活衛生環境整備 (P25) ・ 財政確保 (P94) ・ 公共交通 (P29) ・ 観光の振興 (P11) 関連</p> <p>又、現在大島町の産業別就業人口調査では、3次産業(ほぼ観光産業)が60%を超えて毎年右肩上がりになっております。</p> <p>観光客の確保はあくまでも水ものですが、しかし、この自然豊かな景観をもっと観光に繋げ、もっと安定的な観光事業(イベント)として発展させていく必要があると私は思っております。</p> <p>この豊かな自然を利用し、共存する邪魔しない空間(花のある潤い豊かできれいな場所)があれば尚良いのではないかと思います。</p> <p>例えば、欧米においては、各戸の家庭がそれぞれ自らの庭を個性的なガーデニングにより楽しみ、又、競うガーデニングコンテストも盛んに行われています。</p> <p>地域によってはコンテストも兼ねたガーデニングを鑑賞して回る観光ツアーにまで大々的に発展して観光客の誘致に成功しているケースが多くあります。</p> <p>先般申し上げた、観光税による花壇や緑化は道路沿線だけでなく、町指導による各家庭や空き地のガーデニングを推進し、町の補助金等(観光税の一部)で援助することで花の町として、各自治会や各家庭によるガーデニングコンテストのようなイベントが出来るようになればますます安定した観光客の集客につなげていけるのではないかと思いますし、その際に観光して回る時はコミュニティーバスを利用してもらうことで観光客も満足して観光税を払っていただけたと思います。</p> <p>(観光税→コミュニティーバス→高齢者の免許返納増進→花による緑化→観光客の増加)</p> <p>以上のような一連の流れが循環し、永続的に継続されていくと思います。</p>	<p>上記2に関連する産業の活性化の視点と観光税の活用に対するご提案として参考にさせていただきます。</p>
<p>6</p>	<p>■計画の構成と期間について</p> <p>変化の激しいこの時代において、「基本構想」の対象期間が10年間であることにはそもそも無理があると思います。基本構想と基本計画を合体させた総合計画とし、対象期間を5年間にした方がシンプルでわかりやすいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口県が策定している”やまぐち維新プラン”も対象期間が5年です。 ・ ”周防大島町 まち・ひと・しごと創生総合戦略”も対象期間が5年です。 	<p>目指す将来像の実現のためには長期的な視点に立ち施策を計画的に進めていくことが求められることから10年の構想期間を設定し、社会・経済情勢の急激な変化に的確かつ柔軟に取り組を進める必要があることから、前期5年間、後期5年間に分けて基本計画を定めています。</p>

		<p>なお、総合戦略は、国の方針に従い5年間の計画として計画しています。</p>																								
7	<p>■表紙への追加表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回計画に続いて2回目の計画なので、「第2期」を表示した方がいいと思います。 ・ 計画の対象期間が一目でわかるように、対象期間を「西暦表示」した方がいいと思います。 	<p>周防大島町が誕生して2回目の基本構想の策定となりますので、表題は「第2次」の表記とすることを予定しています。</p> <p>西暦表示についてですが、様々な事業が和暦であり、従来からの和暦表記に統一しています。</p>																								
8	<p>■前回計画に対する総括</p> <p>新計画の作成にあたっては、継続性の観点から前回計画における総括（取組みの成果や未達成項目に対する要因など）を記載した方がいいと思います。</p>	<p>現計画の評価につきましては、住民アンケートやワークショップを通じて、これまでの取組に対する様々なご意見をいただいたところであり、各課においてもこれまでの事業等について精査し、計画案へ反映させているところです。政策指標の達成度合いなどは目標年度とする令和2年度の数値が出次第、評価し実施計画へ反映させていくこととしています。</p>																								
9	<p>■疑問を感じる目標値（前回基本計画素案に記載されている）</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">実績値</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">令和元年度</th> <th style="text-align: center;">令和7年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① バリアフリー化住居</td> <td style="text-align: center;">43戸</td> <td style="text-align: center;">43戸</td> <td>← 増加しない目標ですか？</td> </tr> <tr> <td>② 上下水道普及率</td> <td style="text-align: center;">90.08%</td> <td style="text-align: center;">90.1%</td> <td>← 増加しない目標ですか？</td> </tr> <tr> <td>③ 町道改良率</td> <td style="text-align: center;">53.0%</td> <td style="text-align: center;">54.0%</td> <td>← 微増の目標で間違いないですか？</td> </tr> <tr> <td>④ 文化財展示点数</td> <td style="text-align: center;">34100点</td> <td style="text-align: center;">20000点</td> <td>← 減少理由を追記した方がいいのでは？</td> </tr> </tbody> </table>		実績値	目標値			令和元年度	令和7年度		① バリアフリー化住居	43戸	43戸	← 増加しない目標ですか？	② 上下水道普及率	90.08%	90.1%	← 増加しない目標ですか？	③ 町道改良率	53.0%	54.0%	← 微増の目標で間違いないですか？	④ 文化財展示点数	34100点	20000点	← 減少理由を追記した方がいいのでは？	<p>目標値としての現実的な数値をこれまでの実績などから、維持や微増・微減なども含め設定しています。数値の増減には実績や将来展望などがあり個々の表記はしておりません。</p> <p>なお、ご指摘の文化財展示数については、旧町からのものが膨大にあり、保存場所にも多額の経費がかかることから内容を精査していこうとしているものです。</p>
	実績値	目標値																								
	令和元年度	令和7年度																								
① バリアフリー化住居	43戸	43戸	← 増加しない目標ですか？																							
② 上下水道普及率	90.08%	90.1%	← 増加しない目標ですか？																							
③ 町道改良率	53.0%	54.0%	← 微増の目標で間違いないですか？																							
④ 文化財展示点数	34100点	20000点	← 減少理由を追記した方がいいのでは？																							
10	<p><提言1></p> <ul style="list-style-type: none"> ◎前期総合計画（前後期毎に）振り返りが必須条件 ◎前・後に分け 課題目標毎に具体的に数値による達成度合と未達成原因を明確にする 	<p>現計画の評価につきましては、住民アンケートやワークショップを通じて、これまでの取組に対する様々なご意見をいただいたところであり、各</p>																								

	<p>◎上記の振り返りとして成果と未達原因を町会議で協議し町民が納得し理解できるよう広報に新計画策定の前に広報で報告する</p> <p>以上前計画の実績総括なくして新計画の策定は不可能</p>	<p>課においてもこれまでの事業等について精査し、計画案へ反映させているところです。政策指標の達成度合いなどは目標年度とする令和2年度の数値が出次第、評価し公表する予定にしています。</p>
11	<p><提言2></p> <p>◎新計画策定には 各課題を実施推進するには抽象的な“スローガン”や考え方ではなく課題別（部門別）の実行施策と“いつまでに達成する”かスケジュールを明確にし、全体でチェック管理できる「目標管理システム」の導入が不可欠と考える</p> <p>※民間企業ではほとんど当り前に導入実施されている</p>	<p>ご指摘の内容は事業単位でのロードマップのことと推察します。総合計画におきましては、基本計画を受けて実施計画の中で検討いたします。</p>
12	<p><提言3></p> <p>◎「目標管理システム」を導入することで“組織づくりや人材育成”に繋がり、部門別の評価基準が明確になる</p> <p>◎「部門別実行計画表」誰が（部門）何を（課題）いつまでに（達成年月日）を明確にすることで実施内容と達成度合いが明確になり評価が公平にできる</p> <p>◎半年毎、1年毎に進捗状態が明示され、町民と計画の内容が共有され行政サービスの向上に寄与する</p>	<p>今後の行財政運営に関するご提案として参考にさせていただきます。</p>
13	<p><提言4></p> <p>◎戦略的未來への投資の必要性ー外部の知見導入</p> <p>◎組織改革や組織づくり、人づくりは従来通りの職員の意識改革だけに頼るのは過去実態から見ても不可能と思ひ、是非外部のマネジメントコンサルタントに委託する必要がある</p> <p>組織改革、組織づくり、人事育成のためには早急に導入すべきである</p> <p>※業務改革、人材育成、目標管理等得意とする経営コンサルを調べて委託する（例えば日本総研、地域興し専門部署）</p>	<p>今後の行財政運営に関するご提案として参考にさせていただきます。</p>
14	<p><提言5></p> <p>◎戦略的未來への投資に必要な財源の捻出</p> <p>○業務改革、組織改革に外部コンサルタント導入(契約委託)には2～3年の期間が必要 年</p>	<p>今後の行財政運営に関するご提案として参考にさせていただきます。</p>

	<p>間2～3億?の一般会計での予算化を行う</p> <p>◎財源捻出については一般会計予算に組入れ初年度から予算化(2～3億)する 既に次年度予算が承認されておれば 一般会計総予算額(180億?)の総額の1.5%を各部門予算を削減して捻出する</p> <p>◎この新計画を絶対目標達成を実現するために各部門の予算から捻出努力すれば充分投資原資は捻出可能である</p> <p>○歳出予算その他財政調整予備費が約46億予算化してあり コンサルタント委託費は2～3年間充分対応できる</p>	
<p>15</p>	<p><提言6></p> <p>◎新総合計画で目指す将来像を実施するには 前述の提言を前提として重点目標を重点的に絞り込み予算化することが必要である</p> <p>◎基本目標の1. 自然と共生した快適で活力あるまちづくり、この目標を実現する“最重点課題”は何かを具体化する</p> <p>◎最も、基本の目標は“産業の振興”が核になり、特に“観光産業”の拡大深耕が喫緊の課題である</p> <p>○この目標が生活環境の整備、都市基盤の整備、定住の促進の附帯的に課題解決されなければならない</p> <p>◎基本目標の2、3項目は既に各部門で施策を実施しているので難しい課題ではなく、不要不急の費用を効率化して補助金の内容見直し等 予算実績前年比1.5%～2%の節減は充分行政機能を発揮できる(人材づくりが寄与)</p> <p>◎基本目標の“2. 人が元気で活躍するまちづくり”の各課題別では学校教育以外それぞれ活動を支援している各団体への援助金、補助金が活動内容と成果に見合っているか? 従来からの形式と惰性で支援していないか? 公正を欠いていないか? 徹底したチェックの必要性を感じている</p>	<p>目指す将来像の実現のため、これから前期基本計画を進めるにあたり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>16</p>	<p>ふるさと納税の拡充 <参画者の増強と出品物の創出提案></p>	<p>ふるさと納税は、収入の確保やまちの魅力アップなど地域活性化に大きく寄与するものであり、</p>

	<p>財源の強化増強のため、ふるさと納税の拡充を提案致します。</p> <p>ふるさと納税は、島民の営業努力により全国から寄付金を集めることができ、年齢・技能に囚われることなくまた、大島町の宣伝及び、在宅での各個人にあった返礼品を出品できることから島民の仕事、生きがい、参画者同士での意見交換などにより、まさに島民一丸となり本島の税収を増強できる現在、唯一無二の存在であると思っております。</p> <p>私は漁師としてすでに海産物にて参画させていただいておりますが、一次産業や製造業だけでなくご高齢の方がご自宅で無理のない程度にお創りになられた工芸品や、日常を振り返り書かれた詩集障害をお持ちの方がお書きになられた絵本島の子供たちが描いた、島の日常の遊びや作文このようなものでも、本島ふるさと納税返礼品限定の販売とすればコアな需要が発掘できるかもしれずまた、電子書籍形式で納税者に入金後送信するとすれば、物品発送の送料コストも削減できます。</p> <p>何よりも、島民みんなで島を良くするために少しでも額に汗する気持ちが芽生えると思っております。</p>	<p>いただいたご意見を参考に必要な取組の展開を検討してまいります。</p>
<p>17</p>	<p><ふるさと納税税収額の毎月の公表></p> <p>努力には結果が必要です。</p> <p>ふるさと納税における参画者自身の売り上げは各自で把握できますが、それ以上に努力の糧になるのは島にどれだけの収入があったのか？です。</p> <p>これまでも、年間のふるさと納税額は公表頂いていると存じますが、これを毎月公報の片隅でも、町のホームページでも構いません、島民の努力がいまどれだけ島に役立っているのかを知ることは、とても励みになり「まだまだ上を目指そう」というモチベーションの向上を生みさらなるアイデアで、他に類をみない新たな島独自の返礼品が島民から湧き出てくる可能性があります。</p> <p>また、これを気にすることで町政、島の財務状況などへの関心にもつながり、一人一人の島民意識が時間をかけて変わっていくと信じております。</p>	<p>上記 16 に関連する具体的なお提案として今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

<p>18</p>	<p>公共交通について <路線拡充のための手段> 週末・連休など広島を主とした各県から観光で訪れる観光者の動向を探り「ドル箱路線」を探します。</p> <p>例えば、飯野山展望台、嵩山展望台などのインスタスポットへは、週末・連休などは一般車両通行止めとし麓の国道（437）から山頂へ小型バスを運行します。</p> <p>片道1,000円として往復切符のみの販売で、1人2,000円。乗客10人として、国道～山頂往復で2万円。朝8時～夕16時まで、30分毎に運航し、16往復/日。2,000円×16往復＝320,000円。飯野山・嵩山の2ルートでこれが確立できれば、32万×2＝64万/日の運賃収益です。</p> <p>もちろん、このような単純計算は成り立ちませんが限界集落や高齢者の交通利便性などの向上を継続的にはかるには、このような収益性の高い路線を産み出し、その収益を広くあてがい続ける事を考える必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>公共交通問題は、町内居住者はもちろん、観光客にとっても移動手段の確保は重要な課題です。今後、公共交通に関する具体的な取組を検討する際のご提案として参考にさせていただきます。</p>
<p>19</p>	<p>老人福祉政策について</p> <p>大島では、超少子高齢化の流れの中で、廃校となった小中学校がたくさんあります。その校舎は、まだ十分に活用されていないように思います。(略) 以前から思っていたのは、廃校となった学び舎を、地域のお年寄りのためのグループホーム的な施設として活用できないか、ということでした。(略) 地域のお年寄りにとって、遠く都会の施設に移るよりも、住み慣れた場所で、そしてかつて通い慣れた学校で、童心の記憶を蘇らせながら、できれば同級生もいるなかで過ごすことが出来たら、一番幸せな形ではないかと思いました。(略) せっかく、大島は程よい大きさで、そして超少子高齢化など、そう遠くない未来の日本の(あるいは世界の先進諸国の)姿を先取りしている状況、立地にあります。それなら、先例はないかもしれませんが、思い切ってそれを逆手に取る政策を、新たに選ばれた藤本町長には期待したいと思っています。</p> <p>私がこのような、廃校校舎を老人施設に、という話を周囲の人たちにしましたら、「土に触れて、畑をやるのが健康にすごくいいから、校庭の一部を畑にしたらいいんじゃない」</p>	<p>今後の公共施設有効活用を検討する際のご提案として参考にさせていただきます。</p>

	<p>「ちょうど柵で囲われているんだから、イノシシの獣害もないよね」という意見も聞きました。また、「お年寄りも、いまは元気だから、なにか仕事がしたいんですよ」「広島とかから、企業を呼んで、地元のお年寄りにかんたんなアルバイト的な仕事をもってきてもらえたら、みんな喜んでやると思いますよ」と教えてくれた方もいます。</p> <p>広い校庭は、畑だけでなく、グランドゴルフなどにも活用できますし、フェンスで囲まれていて、安全も確保されています。</p> <p>校舎などの改修、耐震工事などが必要かもしれませんが、ユニークな試みだから、全国的にも注目されるだろうし、資金面では、今はクラウドファンディングなどでも支援が集まるかもね、という話にもなりました。</p> <p>「老後は住み慣れた町、通い慣れた学び舎で」、そんな試みを、ぜひご一考いただけたらと思ひ書かせていただきました。</p>	
20	<p>民間の介護医療施設では工夫を重ねながら利用者の生活を守っている。一方、町立の介護老人保健施設は休業しすぎで給与も賞与ももらっている。企業努力が感じられません。町立は最後の砦であってほしい。観光業に力を入れることも必要ですが、町民が暮らしやすい・住み続けたいと思えるために医療介護福祉の充実は欠かせない。</p>	<p>ご指摘の内容はご意見として承ります。</p>
21	<p>去年から道路工事が頻繁に行われていますが、財政はどうなっているのか。</p>	<p>ご指摘の内容はご意見として承ります。</p>
22	<p>飯野山が改築されて春が楽しみです。</p> <p>文珠山も登りましたが、トイレが昔のままです。</p> <p>文珠堂もトイレが汚くてもう懲り懲りです。</p> <p>嘉納山も休憩所は在りますが、トイレは完備されていません。</p> <p>国定公園になっているようですが、恥ずかしいです。</p>	<p>ご指摘の内容はご意見として承ります。</p>
23	<p>横見のバス停留所のトイレが汚いです。小学生の通学路になっておりますので改善してほしい。</p>	<p>ご指摘の内容はご意見として承ります。</p>
24	<p>出井のバス停から海岸に続く道は、狭くて緊急車両が入れない。防災対策のためにも考えてほしい。</p>	<p>ご指摘の内容はご意見として承ります。</p>

25	三蒲のオレンジロードから、三蒲地区へ入るところは見通しが悪く、危ないので、木や竹を伐採したら、いかがですか？	ご指摘の内容はご意見として承ります。
26	大島斎場に行く時は、行きやすいのですが、帰り道は迷う人が多いと思います。各集落の入り口も分かりませんので、標識をお願いいたします。防災対策にもなると思います。	ご指摘の内容はご意見として承ります。